

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	supportroomぱある		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2024年 9月 19日		2024年 10月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2024年 11月 25日		2025年 1月 23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ほとんどのの方が児童発達支援や放課後等デイサービスをご利用なので、『こども本人に対する支援』を行う際にお互いによく知っている相手であることで、安心を与えながら関わることが出来る。	訪問の職員が児童発達支援や放課後等デイサービスの職員と連携を取り得た情報を、支援に生かしている。	訪問で得た情報を児童発達支援や放課後等デイサービスの支援に生かせるよう、都度職員全体への共有を図る。
2	ほとんどのの方が児童発達支援や放課後等デイサービスをご利用なので、『訪問先施設の職員に対する支援』を行う際に、園や学校以外の様子もふくめた全体像を把握出来ることから、総合的な助言を行うことが出来る。	訪問先の様々な先生方との信頼関係を構築できるよう、心がけている。 担当の先生、管理職の先生からの利用児さんについての相談にはもちろんだが、他の様々な相談にも対応している。	年度が替わると先生方も新しくなるので、必要に合わせた訪問支援の説明を行い、信頼関係を築く。より良い支援につなげていけるようにする。
3	ご家族に対しては、児童発達支援や放課後等デイサービスを通しての関係性から、ご家族の背景を分かっていることで、ご希望に的確にお応えできる。	ご家族のお話を傾聴している中から、表現しきれない要望や不安を汲み取って、支援につなげている。	更に情報共有に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援に従事している職員が少ないため、訪問の要望に応えきれない。	単一事業ではなく、児童発達支援や放課後等デイサービスも行っているため。	中長期的な観点で、保育所等訪問支援へ関わる職員の増員や育成を行っていく必要がある。
2	訪問先によって、頻度や介入の在り方が左右される。	訪問先との信頼関係の構築や、どんな支援が出来るのか説明を行う必要がある。	私達は、訪問先にお邪魔する立場であると共に、訪問先の都合や行事の加味して、双方総意の元実践しなくてはならない。そのためにも、普段からのコミュニケーション機会を量的にも質的にも強化をしていくことで、信頼関係を築いていくことで、ベースを構築していかななくてはならない
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		supportroomばある		公表日 R7年2月14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 運営・ 体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	1	訪問担当職員内でしている。	職員全体でも行い、広く意見をもらうようにしたい。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	今回初めての評価表なので、いただいた評価を元に業務改善につなげたい。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	訪問担当職員内でしている。	職員全体でも行い、広く意見をもらうようにしたい。また、全職員への共有をしっかり行いたい。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	第三者評価の折に、保育所等訪問についての評価をいただかなかった。	外部評価まではいかなくても事業所間連携の中で双方評価を行い改善につなげていきたい。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2			
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		訪問の報告の際などにご家族のニーズを受け取り、児童発達支援管理責任者と共有し課題の検討を都度行い、保育所等訪問支援計画に反映させている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	1		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		訪問の際やお電話にて、訪問先の担当の方との情報共有をもとに連携したことを保育所等訪問支援計画に反映させている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		2		標準化された評価シートの導入等検討していきたい。また、主観評価と客観評価を職員間で明確に統一していかなくてはならないと考えている
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2			
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2				

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	1		あまりケースが多くないのが現状。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	1		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		移行支援は訪問だけの話ではなく、事業所として共有や理解を図る機会を持っている	就学先との連携は年度明けになってしまうことがしばしばある。保護者要望確認の上、必要に応じた相互理解の機会を得ていく必要がある
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2	ご家族の方が参加できる研修のお知らせや機会を作れていない。	情報提供は適宜行っていく(外部研修)
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		2	「丁寧」という点について疑問を持っている	適切にサービスを提供できるように、支援者同士の共通理解の元、運営規定に基づき丁寧に説明していくことを心がける
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	1		垂:こちらも児発管頼りになっている。フォローがなくても適切な説明をおこなえるようにならなければいけない。同上の意見。また、ガイドラインの抜粋資料を作成し訪問先に渡す等の工夫を行っている
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	1	都度、必要な助言を行えている	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1	9月に、利用児の方、ご兄弟、ご家族向けの交流会を開催した。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2	定期的な通信は発行していない。	情報発信のツールとして、ホームページを整備していきたい。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		分かりやすく伝えることが出来るよう、保護者に合わせて伝え方や話の仕方を工夫している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		信頼関係を築くため、情報共有しやすい、また先生方が相談しやすい雰囲気を心がけている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1	職員間の共有は行っているが、ご家庭への周知が出来ていない。	ご家庭へマニュアルの存在(概要)は書面にてお伝え済。内部の情報については慎重に検討して共有の可否と方法を検討する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		2	訪問先とお互いの安全計画を共有する。保護者へ安全計画の取り組みの内容を周知	訪問先での安全管理となるため、訪問先での基本的な行動指針や遵守事項を確認しておく
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		職員間で検討する時間を持っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待防止委員会のもと、研修を行っている。その他、関連の通知などあれば回覧している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	1	身体拘束が必要な事案の際には、身体拘束等適正化委員会で検討会を開催し、保護者さまと相談し行政にも諮ったのちに再度検討会を開催し、個別支援計画書に新たに記載する。	